

No.	008	—	1006	事務事業名	医療費適正化事務	細事務事業名	医療費適応適正化事務	公的関与	1				
PLAN	課名	保険年金課	係名	国民健康保険係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	hokennenkin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	6 社会保障の充実		主要施策	(2)国民健康保険事業の健全化				
	事業の対象	国民健康保険被保険者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	適切な受診等により適正な医療費の支出を図ります。			今年度	医療費の適正化を図ります。						
	活動内容	①	ジェネリック医薬品の啓発用パンフレットを送付します。			④							
		②	医療費通知を送付します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		ジェネリック医薬品の周知		ジェネリック医薬品の啓発活動の指標として、制度の周知を行う。		件	目標 4,720	5,100	5,500	5,500			
医療費通知の送付		医療費通知を発送した件数		件	目標 21,206	21,206	33,000	33,000					
					実績 5,100	5,100							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	国民健康保険特別会計		費目名	総務							
	直接事業費	平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考					
		国・県支出金		1,478 千円		2,731 千円		2,838 千円					
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他特定財源		67 千円		97 千円		141 千円					
		一般財源		0 千円		0 千円		0 千円					
		計(A)		1,545 千円		2,828 千円		2,979 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	226 千円	0.030 人	181 千円	0.030 人	181 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,771 千円		3,009 千円		3,160 千円						
一次評価者	国民健康保険係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	適正な受診や医療費の適正化を図るためには、被保険者に対する制度の啓発や医療費通知の送付により被保険者本人が受診状況の確認を行うことが必要です。												
有効性	医療費通知を行うことにより、被保険者が受診状況を確認することができ、多重受診の抑制などの効果が期待されます。												
達成度	ジェネリック医薬品の啓発については、医療機関の方針等もあるため、実際に医療費や一部負担金がどの程度軽減されているのか把握できていない状態です。												
効率性	医療費通知については、国保連合会の共同処理を利用しており、コストの低減化が図られています。												
当面の課題	ジェネリック医薬品の活用については、自己負担額の軽減や医療費の適正化に効果が期待されるため、今後も一層の普及啓発に努める必要があります。												
改訂計画	ジェネリック医薬品の活用促進のため、利用した場合の自己負担額の減額通知などを検討します。												
二次評価者	保険年金課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	国民健康保険においては、被保険者の高齢化が著しく、医療費の増加に伴う財政運営は大変厳しい状況にあります。医療費の低減を図るため、ジェネリック医薬品の活用や医療費通知の実施により、医療費の適正化を図ってください。												

No.	008	—	1007	事務事業名	特定健康診査・特定保健指導事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	保険年金課	係名	国民健康保険係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	hokennenkin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	20年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	6 社会保障の充実		主要施策	(2)国民健康保険事業の健全化				
	事業の対象	40歳から75歳未満の国保被保険者				根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律						
	事業の目的	最終的	メタボリックシンドロームの発生リスクの高い対象者を早期に発見し、生活習慣の改善により発症と重症化を予防し、医療費の削減に結びつけることが目的です。			今年度	東温市国民健康保険特定健康診査等実施計画の見直しの年であり、市民の健康状態の把握や、実施方法について見直し、第2期の計画を策定します。また、昨年度から引き続き特定健診の受診率の向上を目指します。						
	活動内容	①	特定健康診査の実施状況や受診率、健康状態等を把握し、関係者と次期計画の策定について検討します。			④	集団健診を利用できない方に対し、個別特定健診を実施します。						
		②	申込のなかった人へ個人案内を実施。受診勧奨のリーフレットを対象者に配布します。(各種健診申込時と保険証の更新時)			⑤	東温市医師会に依頼し、受診勧奨ポスターの掲示を行います。						
		③	集団健診の途中(秋頃)に、受診希望があるにもかかわらず受診していない方に対し、受診勧奨の個人通知を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		特定健診受診率		国の基本指針に示される数値にそって設定(法定報告)		%	目標 45 実績 31.5	55 30.8	65	65			
特定保健指導実施率		同上		%	目標 35 実績 56.8	40 実施中	45	45					
内臓脂肪症候群該当者・予備群の減少率		同上 (平成24年度該当数/平成20年度該当数)		%	目標 — 実績 —	—	10	10					
DO	予算費目	会計	国民健康保険特別会計			費目名	保健事業			費			
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	2,863 千円	3,960 千円	3,226 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	2,394 千円	3,085 千円	2,368 千円								
		一般財源	9,851 千円	13,612 千円	8,937 千円								
		計(A)	15,108 千円	20,657 千円	14,531 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.194 人 16,538 千円	2.194 人 13,250 千円	2.194 人 13,272 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		31,646 千円	33,907 千円	27,803 千円								
一次評価者	国民健康保険係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	東温市国保が、被保険者に対して特定健診・特定保健指導を実施するよう法律で義務づけられており、被保険者の生活習慣病予防のために必要です。												
有効性	特定健診は、被保険者の利便性を考慮して、がん検診等の同時実施や、個別健診を実施します。特定保健指導は結果報告会(診察相談日)の機会を利用して、対面で保健指導の利用勧奨を行います。												
達成度	健診受診率は目標値に達していないが、県下中規模保険者では愛南町に次いで2位です。特定保健指導実施率は目標値を達成しています。												
効率性	地域特性があるため、当市にあった方法を検討するため、評価・分析を行います。												
当面の課題	被保険者全体の健康づくりのため、特定健診の受診率の向上が課題です。そのためには、新規受診者の増加、リピーターの確保が必要です。												
改訂計画	新規の受診者を確保するため、退職後に集団健診へ促すきっかけとなる60歳代を中心に、受診勧奨の個人通知を行います。												
二次評価者	保険年金課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	国保が実施する特定健診は、各種検診や介護保険の生活機能評価などとともに、関係課が連携して利用者の利便、効率的な実施に努めていますが、若年層を中心に受診率の向上が難しい状況にあります。国では、受診率の低い自治体には後期高齢者支援金の加算などのペナルティを実施する方向であるため、一層の受診率向上に努める必要があります。												

No.	008	—	1013	事務事業名	レセプト点検事務	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	保険年金課	係名	国民健康保険係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	hokennenkin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	6 社会保障の充実		主要施策	(2)国民健康保険事業の健全化				
	事業の対象	国民健康保険レセプト（診療報酬明細書）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	疾病に対する適切な治療・投薬について、適正な療養費を給付します。			今年度	レセプト内容の点検の充実を図ります。						
	活動内容	①	国保連合会を通じて請求のあった療養給付費について、疾病等に対する治療・投薬が適切かどうかの点検・審査を行います。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		再審査（返戻）件数				件	目標	2,100	2,150	2,150	2,200		
					実績	2,857	2,354						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	国民健康保険特別会計		費目名	総務			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
臨時職員工数・経費		2.000 人	3,404 千円	2.000 人	3,640 千円	2.000 人	3,748 千円						
全体事業費(A+B)		3,404 千円	3,640 千円	3,748 千円									
一次評価者	国民健康保険係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	病院等からの請求内容が適切であるかどうかのチェックをするため、審査を行う必要があります。												
有効性	電子化されたデータを熟練の嘱託職員が審査することで、審査のスピードと精度が向上しています。												
達成度	請求誤りを再審査することにより、医療費（保険者負担）が低減されています。												
効率性	レセプトは、前年度中に電子化され、より効率的な事務処理ができるシステムが導入されました。												
当面の課題	点検を行う嘱託職員のスキルアップを図ります。また、レセプトの電子化への移行に伴う事務の見直しも随時実施し、より効率的なシステム構築を図ります。												
改革計画	8月受診分から、国保連合会と協調し、レセプトの電子化が実施できました。そのシステムがより円滑に運用できるよう努めます。												
二次評価者	保険年金課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	診療報酬の改正点等を重点的に実施するなど、引き続き点検効果の向上に努め、医療費の適正化を図る必要があります。												